

# 言葉の狩られる都市

未来、地球のどこか。大きな世界大戦の後、一つの党が管理・支配するこの国において、私たちは辞書を編纂する「真語省」に勤めている。どういう省なのかというと、**人民の愚考や語彙を制限し犯罪的な思想に陥らせないように語彙をより単純に、人民にわかりやすく再構築する省**である。ネガティブな単語や犯罪的な単語を削除し、より党の原則に沿う単語に作り替えるのだ。私たちはその省に幾つかあるグループのうち一つである。

「将来」？ 不適切な概念だ。きちんと表現しなせう。「愛情を示す呼び方」、例えばダーリンとかちゃん付とか、それらは一つの適切な呼び方で統一すべきではないか？——すなわち、単語カードに書いてある言葉・概念の言葉はいわゆる「禁止語」として上がってきたものだ。単語を新たに作り、取り替えてしまおう。

この榮譽ある仕事に疑問を持ってはならない。

## 〔アスペクト生成質問〕

- **一党独裁**。この党の原則、イデオロギーはなんですか？
- **シンボル**。この国で私たち人民の拠り所となっているものはなんですか？
- [自由アスペクト]。好きに決めてください。

## 〔共同体への質問〕

- この榮譽ある仕事は、長期的なものとなるだろうと推測される。何年くらいかかるでしょうか？そして、今の進捗はどれくらいでしょうか？
- この世界には頭を使わないで済む、広く流通した娯楽があります。それはなんでしょう？
- 私たちはどちらかと言うと中流層に属する。どのような生活をしていますか？
- この国で憎むべき、“みんなの敵”はなんと言う名前ですか？
- 反逆者に対して行われるという、恐ろしい処刑法愛情を“再確認”させる方法の噂があります。それはどんなものですか？

## 名前

ウィンストン、ジュリア、オブライエン、サイム、バーナード、レーニナ、ジョン、ヘルムホルツ、ガイ、クラリス

## 〔時代の移行〕

〔時代〕2へ移るにあたって〔展開〕を(黒い左欄か、赤い右欄か)選ぶ。以降は、選んだ方の〔展開〕が続く。

〔時代〕2へと移る。(アイソレーション)の終わりを予感させる出来事。それはあらゆる会話の中に潜んでおり、無視などできない。

永久に続くと思っていた平和が崩れ去ろうとしています。存在しないと考えられていた他国からの攻撃です。人民はパニックになっています。言葉にも乱れが見られます。私たちはこれを制御しなければいけません。

言葉は私たちによって完全に制御されているはずであり、私たちはこれからも言葉を置き換え続ける。しかしどうだろう、近頃私たちが制御している言葉以外を使う集団が現れていると言う。そのような危機に対して、私たちはどのように反応しますか？

〔時代〕3へと移る。予期されていたことが起きてしまう。

(アイソレーション)の終わりは近い。この定めからは逃れられない。

戦争が終わりません。不足する物資を食い繋ぎ、爆発により死にゆく無罪の何十人を悼み、彼らの平穏のためより統制された言語を作らなければなりません——しかし、それらを制御することは前よりも難しくなっているでしょう。

なんということでしょうか、私たちが制御しているはずの言葉を、よりさらに歪め、党の打倒を図っている一派はこの省の人間でした。反逆者は私たちの中にいるのでしょうか、それとも私たちが知らないこの省に勤める人間なのでしょうか。私たちの中にいるとしたら、どうしてそのようなことをしたのでしょうか。

〔遣されゆくもの〕へと移る。最後の瞬間、またはその結果。

ついに壁は崩され、この国そのものが無くなろうとしています。私たちの成果は、辞書は、どのように扱われるでしょうか。言葉による支配は尾を引きますか、それとも引かないでしょうか？

言葉を作り続けても追いつきません。そのうち、反逆者をどうにもできなかったとして、私たちは“どこか別の場所”に送られることになりました。私たちに限らず、この省そのものが解体されるなんて言う噂もあります。我が省は、我が党は、我が国は、我が言葉はどうなってしまうのでしょうか。

アツメ

本文

鮎方高明

編集

アツメ

イラスト

このバックドロップは、ロールプレイング・ゲーム『ダイアレクト』(Thorny Games)のアクセサリです。  
『ダイアレクト』について興味がある方は、[harrowhill.rdy.jp](http://harrowhill.rdy.jp)をご参照ください。

遊ぶにあたって、このバックドロップは自由にコピーしていただいて構いません。またクリエイティブ・コ  
モンズ「表示-非営利-継承」ライセンス範囲内で自由にご利用いただけます。

<https://creativecommons.org/licenses/by-nc-sa/4.0/deed.ja>

This playset is copyright 2021 by Atsume, twitter id:2D6\_7. *Dialect* is  
copyright 2017 by Thorny Games, LLC. All rights are reserved. Japanese  
translation published by arrangement with Thorny Games Publication. ©  
2020 by Harrow Hill.

